

平成 17 年度 埼玉県 NPO 活動促進助成事業  
NPO 法人 アート農園 収穫の蔵・事業  
夏休み親子林間石彫教室 レポート 2005

石彫教室／2005 年 8 月 13 日(土)・14 日(日)

石彫展／2005 年 8 月 16 日(火)～19 日(金)

## アート農園

「アート農園」は様々な分野の垣根を取り除き、「文化・芸術」の重要性を注視し、メティエ・エ・クリティーク（理論と実践）を基本理念においた、社会生活全般にかかわる総合的な文化研究機関として2004年10月に発足いたしました。文化・芸術を深く理解し、地域社会に積極的に貢献しようとする多彩な人材を講師として招き、特色あるワークショップを通して、かつてなかったかたちの創造的で豊かな地域社会の建設を実現することを目的としています。

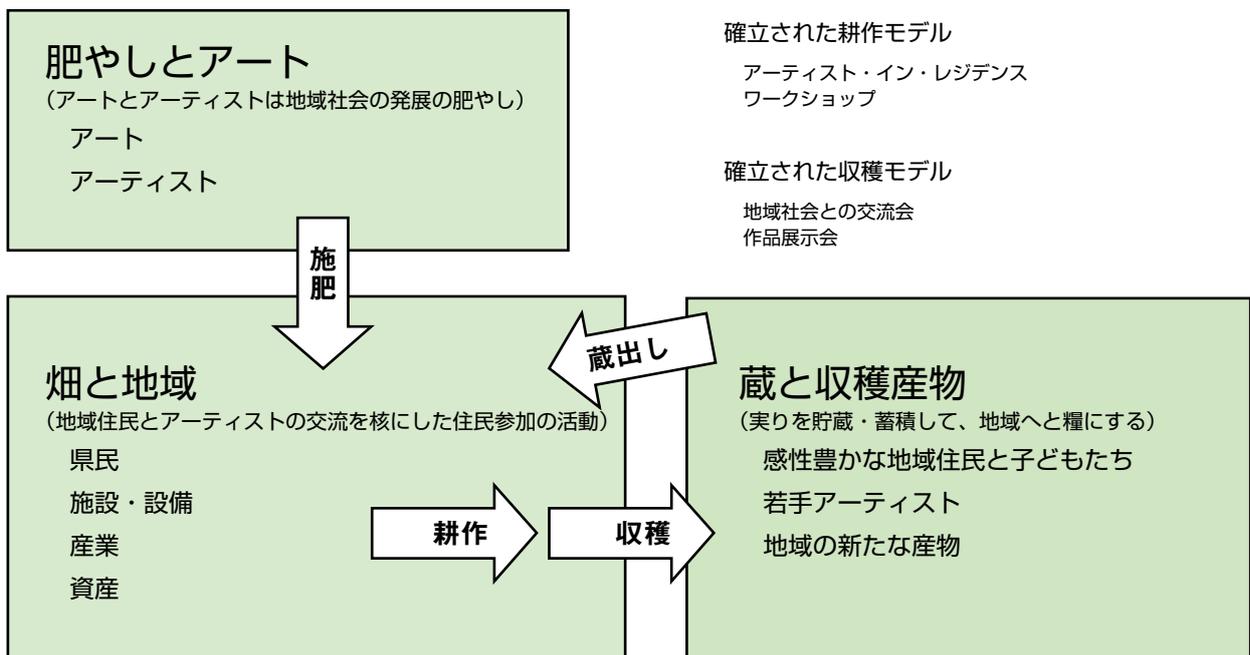
## 収穫の蔵 / 事業概要

アート農園が計画するアーティスト・イン・レジデンス事業やワークショップ事業を背景に招聘アーティストや様々な分野の専門家を講師として迎え、県内の地域社会における国際文化交流と芸術理念を基本構想においた生涯教育事業をミックスした、県民参加型の新しいコミュニケーションの在り方を模索します。参加した県民の方々が参加アーティストとともに自分自身を知るためのユニークなワークショップ講座をとおして、生きていくために必要な活力と生きがいを収穫できるような開かれた場づくりを目指します。また県内各地の様々な特産物とリンクした産業開発振興の可能性を提案していきます。

### これまでの主な活動内容

東京都	ワークショップ・プロジェクト Vol.1 (銀座) 「ふれあい・美術」 医療法人社団 湖聖会 銀座医院	2003/07/23
静岡県	ワークショップ・プロジェクト Vol.2 (富士市) 「ふれあい・美術」 医療法人財団 百葉の会 湖山病院	2004/01/09
東京都	株式会社システムアスカ主催 「潜在能力開発プログラム」	2004/08/28
都内各地	アート農園 MASC 助成プログラム 05 年現在 11 人の作家を対象に助成支援	2003/05 ~
機関誌	都市芸術実働会議経過記録誌『MASC』1000 部発行 - 美術雑誌『FACE』800 部発行 - 美術雑誌『ART FIELD 01』800 部発行 - 美術雑誌『ART FIELD 02』1000 部発行 以降毎年 2 冊刊行継続予定	2001/11/01 2002/09/10 2004/11/01 2005/08/05
東京都	『ART FIELD』出版記念展 画廊「あーとじょいばるば」	2004/11/06 ~ 28
埼玉県	ワークショップ・埼玉 NPOまつり 子供を対象にしたワークショップを開催	2005/05/07・08
埼玉県	NPO 法人資産相談センター主催 セミナー内において講演「アートの効用」	2005/06/18
その他、美術館やギャラリーに出向き、勉強会を随時開催中		

## 事業全体像



# 石彫教室 一日目



石を選んでもらう生徒（左）と先生（右）

## 13日（土）一日目

午前の部	
09:00	受付開始
09:30	主催者挨拶・講師紹介・講師挨拶 石彫の説明（石の彫り方・道具の使い方 ・ケガの予防、その他）
10:00	エスキース制作・石どり
12:00	片付け、整頓、午前の部終了
午後の部	
13:00	受付開始
13:30	主催者挨拶・講師紹介・講師挨拶 石彫の説明（石の彫り方・道具の使い方 ・ケガの予防、その他）
14:00	エスキース制作・石どり
15:00	荒彫り
16:00	片付け、整頓、午後の部終了

## 地域への取り組みが大きな成果を生み出す

アート農園が提案する「収穫の蔵」事業が埼玉県内で始まりました。これまでも東京・埼玉・静岡と、さまざまな場所でお年寄りや子供たちとの「ふれあい」をテーマに宮為展開してきましたが、地元の人々がこんなに多く参加したイベントは、今回が初めてです。

誰でも参加でき、作ることと観ることの喜びを共感できるワークショップ。それは、教える側と教わる側との双方向的なコミュニケーションが基本となり、対話を深め、継続・発展させていくことがなによりも優先されます。

今後5年間をひとつとぎりとしながら、地域社会における継続可能な企画として、また、多彩な経験をアーカイブ化（体系的に集約・管理・保存し、共有・活用を進めていくこと）し、

多くの県民とアーティストがふれあう機会を重ねていくなから、新たなコミュニケーションの場を導き出していきたいと考えています。

地域の芸術力、文化力の向上はこうした粘り強く地道な努力のなかから育まれていくと信じています。そして、参加するすべての人々が楽しく学べるような雰囲気作りと、ものづくりに集中できるような興味深いエデュケーションプランを常に提供していけるように心がけていきたいと思えます。こうした地域への取り組みが、より開かれた社会を築いていくのではないのでしょうか。このレポートは、こうした地域に生活する県民とのコミュニケーション・ツールの1つとして作成されたものです。

## 地域社会との新たなコミュニケーションが始まる

今回、石彫教室を行った公園は川口駅西口に隣接する大きな公園で、リアパークと名付けられています。リアパークは、総面積3.1haと広大な、面積を誇り、園内には13もの彫刻があることから「彫刻の公園」として知られています。園内の、木陰がたくさんある涼しい歩道ではジョギングや散歩を楽しむ人々が溢れ、近くを流れる小川では子供たちや犬が水遊びをしています。この公園は、市民・県民にとっての憩いの広場になっているのです。そんな空間の一角を

使った石彫教室は、公園を訪れる地域の人々に興味深く受け止められたようです。一例を上げると犬の散歩をしていたお婆さんと娘さんが、はじめは何が始まったのかと不思議そうに周りを見回していたのですが、次第に、遊びに来た子どもたちと一緒に石を彫り、スライム作りや勾玉作りを楽しんでいました。作品を作り終えて、「来年もまた参加したいね」とお婆さんが言ってくれました。地域の人々とリアリティーのある交流が始まったように思えたのです。

## 高い専門性

アート農園は、他のワークショップでは真似のできない利点の一つとして専門性の高さがあります。美術家はもとより、建築家、工芸家、写真家、イラストレーター、ギャラリー経営者、大学教員、教育研究者、美学者、美術評論家、美術館学芸員、美術雑誌編集者、デザイナー、音楽プロデューサー、学生、など多方面で活躍する経験豊富な人材が集まっています。その機動性を大いに発揮して今回、石彫教室の講師に女子美術大学の岡野裕先生と東京造形大学の小野寺優元先生をお招きし、講師をつとめて頂きました。助手や補助アシスタントには埼玉大学教育学部彫刻科の大学院生や東洋美術学校の学生の皆さんにお手伝い頂きました。

## 共に作り、共に考える

石を彫るとしてもすぐに彫り始めるわけではなく、まず、何を作りたいかを考えて、紙粘土を使いながらエスキース(模型)を作ってもらうことが最初の作業となります。生徒さんたちには子どもも大人も、猫やうさぎなど自分の作りたいモノを考え、作ってもらのですが、ここでも、ただ「作る」のではなく、講師と共に「作る」ということを考えます。「少し無理な形だからこうした方がいいよ」とか「こうした方が面白いよ」など、アドバイスを織りこみながら、豊かな感性と創造力を磨き、一人では得ることのできない「楽しむ力」を体験して頂きました。

石彫作品は石を選ぶところで作品の出来上がり、善し悪し

## 坑火石



坑火石

石彫の石は、新島で産出される坑火石<sup>コウカセキ</sup>という石材で、川口までわざわざ運んでもらったものです。この石はキューボラのある町、川口ではなじみ深い溶鉱炉の内側にも張られている軽石石材で、もちろん石彫材料としてもひろく使われています。

## モノづくりに応えるアート農園のソリューション

これまで、1度行った事業の経験を次のステップへと生かしていくという経緯がありました。そんな事業に参加し関わった多くの人々との出会いから得た貴重な体験から、「文化・芸術の理解者を増やす」ことをスローガンに、NPO活動へと進化を遂げてきました。見せたい側、作りたい側の一方向的な思いを越えて、地域社会が求めていることを探りながら、それを実践する現場や求める人々との対話を積み重ね、



石彫の説明をする小野寺氏(右)とそれを聞く生徒(左)と先生(中央)

が大きく変わってきます。講師はここでも、一人ひとりのエスキースに見合った石を丁寧に選んでいきます。

抱きかかえるような大きな石を手にした子どもたちは、最初はその大きさに驚いていましたが、彫り始めるとドンドン削れ、形を変えていく石を目の当たりにして、いつしか楽しくなってきたのか、しだいにみんな無言で打ち込み始めました。今回、用意した道具は、ハンマー・ノミ・ヤスリ・ゴグル・手袋など、子どもたちの中では初めて使う道具もいくつかあったようですが、対象者をナイフ等の刃物の扱いができる10歳程度にしたこともあり、怪我もなくスムーズに進めることができました。

## プロセス

夏休み親子林間石彫教室や石彫展は、[創ること][見せること]だけを目的とするのではなく、それまでの様々なプロセスが如何に生かされていくのかを検証し、人々のふれあいのなかから「創る喜び」「楽しむ力」が徐々に養われていくことを願っています。また、この事業に関わった多くの人々の経験が、埼玉県文化・芸術の発展を推進する原動力になっていくと信じているのです。

多くの構想を実現的な具体案に結びつけることが鍵となりました。今回の「夏休み親子林間石彫教室」はそういった構想の1つの具体案として始まったのです。これまでアーティストは、個人でモノづくりを行ってきましたが、これからは、多くの人々と一緒にモノづくりを推進し、社会へと還元することがより多くの理解者が得られる近道だと考えています。



朝からもくもくと一人で彫っている少女



紙粘土でエスキースを造る



受付するお母さんを覗く少年



慣れない手つきでハンマーを叩く少年



カメラに向かってニコッと笑う少女



お父さんもお兄ちゃんも弟もそれぞれ集中して打ち込む



講師に掘り進めるところをチョークでマーキングしてもらおう



メガネがとても似合っている男性



初めの注意点などを説明をする講師と生徒



1つの石を共同で彫る家族



NPO日本渚の美術協会のポスターを見る参加者



抱えきれない程の大きな石が小さくなるまで彫ってしまった少女



休みの時間も惜しんで打ち込みお父さん



講師として来てもらった彫刻作家の矢部裕輔さん



作品と向き合う参加者



ポスターを貼らせてもらった公園近くのドトール



すごい集中力で午前中で作品を完成させた学生

# 石彫教室 二日目

## 14日(日) 二日目

午前の部  
10:00 制作開始・中彫り  
11:00 仕上げ  
11:30 講評・表彰・撮影  
12:00 片付け、整頓  
12:30 終了(午前の部)

午後の部  
13:00 制作開始・中彫り  
14:00 仕上げ  
14:30 講評・表彰・撮影  
15:00 片付け、整頓  
15:30 終了(午後の部)



最後までおねえさんといっしょに彫り続けた少年と作品

## 大人も子どものように

今回の石彫教室は2部構成になっています。一日中作業するというのは子どもの体力も考え、2日間ということにしました。また、一つのことに集中してモノづくりを考えていくという貴重な機会を提供するというのもありました。初日の午前中に参加した方は、二日目の午前中に再度参加してもらい、続きを彫ってもらうというスケジュールで始めました。もちろん例外的な参加も臨機応変対応しながら、基本的にはこのような方針で展開されました。大半の予想は、すこし疲れがでて飽きがる子どももいるだろうと考えていたのですが、実際、蓋を開けてみると大人も子どもも夢中で石

と格闘していました。子どもの集中力もさることながら、大人たちも負けじと子どもと競うように彫り続けていました。作業のあい間あい間に小休憩としてお茶やジュースでのどを潤しながら、再び作業に取り掛かってもらいました。中には、その小休憩も惜しむかのように作業を進める参加者もいました。こうした地域の方々との「創る」ということの喜びを親子で体験することは貴重な思い出となって残ることでしょう。また作品を完成させるという達成感もおおきな自信へとつながっていくことでしょう。

まがたま

## 勾玉作りとスライム作り

本事業の石彫教室以外に、勾玉作りやスライム作りの教室もいっしょに開きました。勾玉とは、古代の人が主にひすいやメノウという石を利用して作っていましたが、その形は、陰陽(太陽と月)を意味する大極図を表す説、胎児の形を表す説、動物の歯牙を表す説など様々で、三種の神器として王が持っていたとも言われています。その中でも比較的軟らかい「滑石(かっせき)」「蠟石(ろうせき)」とも言うという白い石鱈のような肌触りの石を使用して、いろいろな形の勾玉を作りました。勾玉は小さなノコギリやヤスリを使って大まかな形を作り、細かい箇所には水をつけながら紙ヤスリで磨くと表面がツルツルになります。子どもでも簡単に作るこ

とができるので、石彫教室に参加できない小さい子どもたちを対象に呼びかけました。スライム作りは、合成洗濯のり(今回は専用のりを使用しました)とホウ砂をお湯で溶いて、好きな色を混ぜると出来上がります。固体のような液体のような、独自の手触りが「ニュルニュル」として面白遊びができるのです。スライムが成功するとストローを突きさして吹くと風船のように膨らますこともできます。こちらも小さい子どもを対象に呼びかけたのですが、大人も子どもも、お爺さんやお婆さんまでみんなで楽しんでいただきました。その他、夏休みの宿題のアイデアについて子供達の相談にのったり、美術・芸術に関わる相談コーナーを設けました。



作ることが楽しくて、笑ってしまった少年



「混ぜるのが一番楽しい！」と誰よりも早くスライムを混ぜる少年



真剣に勾玉を作っている女の子



勾玉を紙ヤスリで何度も削る少女



このプニョプニョ楽しいよ！



膨らまない！！



公園に遊びに来たお婆さんと娘さんの初めて作った勾玉



「私にもやらして〜」と泣きそうな顔で言っていた女の子



ハートの勾玉を作った女の子



野球ボールを放り投げて勾玉作りに夢中な少年たち



ピヨ〜ン



スライムをパンを作るようにこねる



スライム風船を膨らませたいのにほっぺたが膨らむ少女



お父さんと一緒に勾玉作りをする少年



子どもの勾玉を作っているはずが・・・



講師の女性とスライムを作る男の子



スライム風船のプロフェッショナル



勾玉をノコギリで切る男の子



なかなかうまくいかない女の子を教える講師



いろいろな形の勾玉たち

# 地域 参加者の声

(アンケート / 回答数 : 26)

## Q. 作品を作ってみて感じたこと、感想などを自由にお書きください

- ・楽しく作品を作る事が出来ました。本当に楽しかったです。ありがとうございました。
- ・思ったより石がやわらかく簡単に彫れておもしろかった。子供たちが夢中になって楽しんでいる姿が印象的でした。
- ・ただの石が形になっていくところが面白かった。
- ・とてもむずかしいが、やりはじめると、とまらなくなっておもしろい。
- ・自然の中で、手作業でモノづくりをするのは、いいものですね。
- ・なかなか体験できない石彫ですが、意外に簡単に楽しめました。また機会があればぜひやってみたいです。
- ・思い通りの形になかなかならない。でも力を入れなくてもけずれる素材でよかったです。
- ・絵ではわからなかった立体の造形のおもしろさを楽しめました。子供も暑い中、一生懸命できて良かったと思います
- ・いしぼりはむずかしかった。

## Q. 何処でこの催しを知りましたか？

- インターネットを見て : 1
- 知り合いから : 18
- チラシ・ポスターを見て : 2
- 当日たまたま : 4
- 朝日新聞で : 1

## Q. 内容は？

- 良かった : 24
- 普通 : 2
- つまらない : 0

## Q. 日程は？

- 参加しやすい : 23
- 他の時期がいい : 4
- ・ 1日で出来あがるようにしたほうが良いと思う
- ・ もう少し涼しい時期が better
- ・ 7月の4週目
- ・ 秋

## Q. スタッフの対応は？

- よかった : 24
- ふつう : 2
- よくない : 0

- ・ 子供にも楽しくできました。
- ・ けがをしなくてよかったです。すごくたのしかったので、らいねんまたやりたいです。
- ・ 石を彫ってむずかしかったですが、面白かったです。暑くて汗だらけ…
- ・ ふだん平面の仕事をしているのでとても刺激になりました。平面と立体の中心の意味の違いなど、考えつつ制作で楽しかったです。
- ・ ひとつの作品を仕上げるむずかしさを実感しました。
- ・ はじめて石彫をしたけど、すごく面白く制作できた。子どもから大人まで楽しめる作業だと思う。
- ・ あつかった。でもがんばった。
- ・ とんぼやせみ、かまきり、蝶が毎日いて、水遊びもでき、その中で石をほるのはめったにできない貴重な体験でした。他にも子供さんが、予想より沢山いらして、それがほっとしました。色々なスタッフの方におしえてもらい、お手伝い頂きやっとできました。ありがとうございます。次回も参加ぜひしたいです。
- ・ 久しぶりに彫刻が出来て楽しかった。
- ・ なかなかむずかしかったです。彫刻家はすごいと思いました。
- ・ 普段できない体験ができ良かった。
- ・ 石を彫る、削るということがとても楽しかった。作りだす、創りだすことは喜びですね。企画をされた方、実行部隊の皆様のご努力に感謝！
- ・ 石を彫るって本当に大変！！でも、とっても楽しかったです。子どもより夢中になってしまいました。アート農園の活動に、とても興味をもちました。今後よろしく願います。
- ・ 目を作る所が、大変で、途中で、作品の体の形がわからなくなった。

# 石彫展 展覧会



展覧会来客者数：234人

一日平均数：25.5人

作品数：50個

## 作ること・見せること

今までの、ワークショップや教室では作品を作り終わると他の人の目に触れることもなく家に持ち帰るだけだったのですが、アート農園では、作るだけではなく、完成した作品を展示して多くの人々に観てもらえるようにしました。参加者には作る楽しみだけではなく、見てもらう楽しみも味わってもらうということで、自作品と他人の作品を同時に並べて鑑賞しながら、各々の作品についての理解力や批評力も身につけてもらいたいという思いがあったのです。

## 展覧会を見に来た人たちの声

展覧会では、会場が吹き抜けになっていることもあって、その開放的な雰囲気に誘われるように近くを訪れた方々も参加した方々も、たくさんの人たちに見て頂きました。なかでもいくつかお話を聞かせて頂きましたのでここでご紹介しましょう。「岡野先生や小野寺先生、スタッフの皆様のおかげで満面の笑顔で帰ることができました。また、機会がありましたら是非とも参加したいです」。「孫が作った彫刻を見に来ました。あの時、遠くに住んでいる娘と孫たちとで、たまたま公園の広場を通りかかって面白そうなので参加したのですが、私だけ、先に帰ってしまっ、完成し

## 次へのバトン

今回の石彫教室では「夏休みの宿題・お絵かき相談コーナー」など、子供たちの作品づくりのために相談コーナーを設けましたが、石彫教室の作業が盛況だったということもあって、このコーナーは閑散としてしまいました。来年はもう少し工夫を凝らし、充実させていきたいと思います。また石彫教室に加え、新たにNPO法人「日本渚の美術協会」さんにも参加して頂いて、合同で近くの海岸の清掃活動に参加し、「なぎさの工作教室」と題した、砂浜に打ち上げられたガラスや流木、貝殻などを素材にして、かわいいアクセサリーや置物を作る予定です。来年もますます充実した教室になるように頑張りたいと思います。

た彫刻作品はもう見られないのかと思っていました。こうやって展覧会まで開いて頂き、見ることができて本当に良かったです。そう言ってこの方は、写真を何枚も撮っていました。そのほかにも、参加した子どもたちが「これ僕が作ったんだよ!」と自慢したり、「すごいね」とお父さんに褒められて喜び、はしゃぎまわったりと参加した方々それぞれ楽しんでくれたようでした。

# アート農園「収穫の蔵事業」夏休み親子林間石彫教室

事業実施期間 平成17年8月1日 ~ 平成17年10月31日

## ■石彫教室の講師陣・助手・スタッフ

特別講師	女子美術大学 彫刻科教授	岡野裕様(彫刻家)
講師	埼玉大学大学院彫刻科	高堂則仁様
講師	埼玉大学大学院彫刻科	川久保秀美様

その他、石彫教室の2日間で延べ43名の講師陣において頂きました。また石彫教室及び石彫展の運営スタッフとして、(2005年6月1日(準備期間)~10月末日までの事業期間中)埼玉大学大学院生(彫刻科)や東洋美術学校学生を含む、総勢、延べ58名に参加頂きました。つつしんでお礼を申し上げます。

またこの度、埼玉県および川口市の職員の方々はじめ多くの報道機関や団体・個人の皆様方に御協力、御支援を頂きましたことを心より感謝し、お礼を申し上げます。

## ■来場者数(アート農園事務局調べ)

	1日目	2日目
石 彫	56名 (両日あわせて合計64名が参加しました。)	58名
スライム	121名 (両日あわせて合計258名が参加しました。)	137名
勾 玉	78名 (両日あわせて合計192名が参加しました。)	114名
美術相談	5名 (両日あわせて合計11名が参加しました。)	6名
石彫教室総参加人数	525名	
石彫展来場者数	234名	

## ■後援

埼玉県  
川口市・川口市教育委員会  
NHKさいたま放送局  
テレビ埼玉  
埼玉新聞社  
読売新聞社さいたま総局  
朝日新聞社さいたま総局  
毎日新聞社さいたま総局  
産経新聞社さいたま総局  
東京新聞社さいたま総局

## ■協賛

学校法人 東洋美術学校  
埼玉美術学院  
サニーヘルス株式会社  
ホルベイン工業株式会社  
NPO 法人志民アシストネットワーク  
株式会社システムアリカ  
グローバルウイング株式会社



サニーヘルスお土産セット

## ■協力

川口西ロータリークラブ  
川口市本町四丁目町会  
NPO 日本渚の美術協会

## ■special thanks (順不同)

大久保善健様	石原清治様	伊藤亜矢花様
藤村達彦様	松尾道夫様	鈴木吉子様
吉田秀得様	佐藤行信様	羽田 恵様
吉田和子様	本間 清様	五十嵐麻美様
吉田郁久子様	浅見純子様	鷹栖美智子様
中村孝三様	金子良治様	中村智子様
溝淵幸一様	鷺巣敏行様	武笠由佳様
吉田 肇様	飛田庸徳様	山本香織様
芝崎貞通様	浜崎みさき様	奥西麻由子様
岡村睦美様	岩井綾女様	依田淳子様
新井衣乃様	浜崎有可様	山田たみこ様
團野淳子様	西山佳孝様	川添 睦様

## ■アート農園「収穫の蔵事業」 夏休み親子林間石彫教室実施体制

事業責任者	芝 章文 (NPO 法人アート農園代表)
事業責任者補佐・統括	中村 章 (NPO 法人アート農園理事)
現場責任者・統括	小野寺優元 (NPO 法人アート農園理事)
講師担当責任者	小松崎広子 (NPO 法人アート農園理事)
講師担当	矢部裕輔 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当責任者	佐竹英一 (NPO 法人アート農園理事)
現場担当	沼田直英 (NPO 法人アート農園理事)
現場担当	盧 万喜 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当	五味良徳 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当	崩 清明 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当	吉田有美子 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当	木村由美子 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当	相原朋会 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当	笹岡 翔 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当	中村恵実 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当	斉藤麻美 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当	森口哲聖 (NPO 法人アート農園会員)
現場担当	草野すみれ (NPO 法人アート農園会員)
記録責任者	山田宴三 (NPO 法人アート農園会員)
広報責任者	大橋紀生 (NPO 法人アート農園理事)
広報担当・デザイン	西尾 順 (NPO 法人アート農園会員)
事務局	山田ちさと (NPO 法人アート農園理事)
事務局	神野八重子 (NPO 法人アート農園会員)
事務局	近藤由美子 (NPO 法人アート農園会員)
資材管理責任者	新山光隆 (NPO 法人アート農園会員)
経理担当	細江英俊 (NPO 法人アート農園理事)

8/12 (金)  
前日準備



8/13 (土)  
1日目



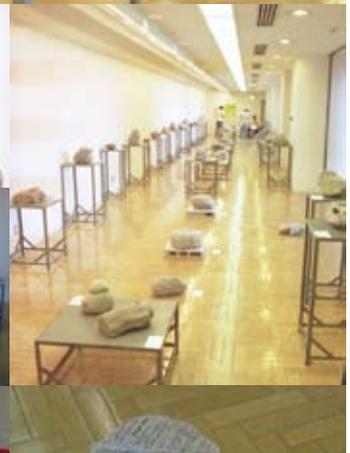
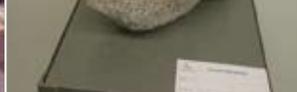
8/14(日)  
2日目 1



8/15 (月)  
片づけ 1



8/16 (火)~19 (金)  
展覧会 1



# 媒体展開

アート農園・収穫の蔵事業

## 夏休み親子 林間石彫教室

参加費 ¥1000 参加者 限定100人

夏休み期間などその他相談コーナー  
勾玉・スライム教室 参加費 無料

アート農園・収穫の蔵事業  
「夏休み親子林間石彫教室展」11:00~17:00  
8月16日[火]~19日[金] リリア内ギャラリー  
※作られた作品はギャラリーにて展示いたします。  
※勾玉・スライム・図工、その他相談コーナーは無料です。  
※定員になりしだい締め切ります。

2005年8月13日(土)・14日(日)

1日目 午前 9:00~12:00 午後 13:00~16:00  
2日目 午前 10:00~12:30 午後 13:00~15:00

埼玉県川口市川口駅西口リリアパーク (川口西公園内)



後援  
埼玉県  
川口市・川口市教育委員会  
さいたま放送局  
テレビ埼玉  
埼玉新聞社  
読売新聞社さいたま支局  
朝日新聞社さいたま支局  
毎日新聞社さいたま支局  
産経新聞社さいたま支局  
東京新聞社さいたま支局

協賛  
学校法人 東洋美術学校  
Sabi 埼玉美術学院  
サニーヘルズ株式会社  
@hibi ホールビル工業株式会社  
NPO法人まほろアソシエーション  
株式会社システムアrika  
グローバルウィング株式会社

協力  
川口西ロータリークラブ  
川口市本町四丁目会  
NPO日本漆の美術協会

アート農園  
United Art Plantation  
http://www.art-nouen.jp/

ちらしー表

夏休み親子で遊ぶ  
林間石彫教室

子どもと親が楽しめる石彫教室になります。講師も共に「ものづくり」に参加します。

埼玉県川口市の林間公園で伊豆半島や新潟で産出される火山石(コウカセキ)を素材にして埼玉県内の親子や子供を对象に、石彫体験のワークショップを開催いたします。火山石はキューボラのある時、川口ではなじみ深い岩盤湖の内側にまで採られている軽石石材です。その石材を活用し県内外のアーティストを講師に迎え、夏休みの2日間公園の木陰で石器時代の人々の気持ちになってエスキース(模写)を考えたり石を刻んだりしながら彫ることの楽しさを体験してみませんか? また小さな勾玉作りやスライム作りなど簡単な図画・工作コーナーを設け、夏休みの宿題のアイデアについて子供達の相談を受け付けます。その他、美術・芸術に関わるあらゆる相談にも対応いたします。将来美術の道に進みたい方、デザイナーを目指している方、履修会を開きたい方など、親民の芸術力・文化力を高めるための専門家による相談コーナーを設け可能な限り対応いたします。ふるってご参加ください。

スケジュール

13日(土) 一日目		14日(日) 二日目	
午前9:00	受付開始	午前9:00	制作開始・中彫り
09:30	主催者挨拶・講師紹介・講師挨拶	11:00	仕上げ
	石彫の説明(石の彫り方・道具の使い方・ケガの予防、その他)	11:30	講評・表彰・撮影
10:00	エスキース制作・石どり	12:00	片付け・整頓
12:00	片付け・整頓、午前の部終了	12:30	終了(午前の部)
午後13:00	受付開始	午後13:00	制作開始・中彫り
13:30	主催者挨拶・講師紹介・講師挨拶	14:00	仕上げ
	石彫の説明(石の彫り方・道具の使い方・ケガの予防、その他)	14:30	講評・表彰・撮影
14:00	エスキース制作・石どり	15:00	片付け・整頓
15:00	片付け・整頓、午後の部終了	15:30	終了(午後の部)

○勾玉作り、スライム作り、図画・工作などの相談コーナーは両日とも10時~13時から別テントにて平行して開講いたします。

お問い合わせ先  
NPO法人 アート農園  
連絡責任者: 芝 章文  
埼玉県川口市芝3879  
TEL: 048-269-4965  
FAX: 048-269-4965  
E-mail: shobun@tokyo.ena1.ne.jp

申し込み用紙

参加費 ¥1000 (幼児1人あたり100)

坑火石 合計 個

参加者(保護者)氏名	フリガナ	参加希望部門	(午前部) (午後部)
参加者の住所	〒	参加人数	大人 人 子供 人
電話番号		メールアドレス	
参加者名・年齢	氏名 才	氏名 才	才

※希望者数(120名)を超過する場合は、抽選により参加申し込みも可能です。  
※抽選の結果通知は必ずしも参加希望の順序で通知されるものではありません。ご了承ください。  
※抽選の結果通知は必ずしも参加希望の順序で通知されるものではありません。ご了承ください。  
※勾玉・スライム制作などの相談コーナーもこの日に併せて開講いたします。

アート農園 FAX: 048-269-4965  
E-mail: shobun@tokyo.ena1.ne.jp  
お申し込み方法はFAX又はメールにてお申し込み下さい。

ちらしー裏

アート農園  
United Art Plantation

アート農園「収穫の蔵事業」夏休み親子林間石彫教室

夏休み親子林間石彫教室  
参加費¥1000/参加者限定100人  
※埼玉県内の親子・子供を対象とします。友人・知人での参加も可能です。  
※石彫の対象年齢は、10歳程度でナイフ等の刃物の扱いができれば参加可能です。  
※定員になりしだい締め切ります。

勾玉・スライム教室  
夏休み期間などその他相談コーナー  
参加費無料

2005年8月13日(土)14日(日)  
埼玉県川口市川口駅西口リリアパーク(川口西公園内)  
午前の部 13日 09:00~12:00 14日 10:00~12:30  
午後の部 13日 13:00~16:00 14日 13:00~15:00  
○勾玉作り、スライム作り、図画・工作などの相談コーナーは両日とも10時~13時から別テントにて平行して開講いたします。



ホームページ

アート農園・収穫の蔵事業

## 夏休み親子 林間石彫教室

参加費 ¥1000 参加者 限定100人

2005年8月13日(土)・14日(日)

埼玉県川口市川口駅西口リリアパーク (川口西公園内)

1日目 午前 9:00~12:00 午後 13:00~16:00  
2日目 午前 10:00~12:30 午後 13:00~15:00

アート農園・収穫の蔵事業  
「夏休み親子林間石彫教室展」11:00~17:00  
8月16日[火]~19日[金] リリア内ギャラリー  
※作られた作品はギャラリーにて展示いたします。  
※勾玉・スライム・図工、その他相談コーナーは無料です。

アート農園 NPO法人 アート農園 連絡責任者: 芝 章文  
埼玉県川口市芝3879 E-mail: shobun@tokyo.ena1.ne.jp

お申し込み方法はチラシ又はWEBでお知らせ下さい。  
http://www.art-nouen.jp/

8.13 SAT. 14 SUN.

DM

アート農園・収穫の蔵事業

# 夏休み親子 林間石彫教室

参加費 ¥1000

参加者  
限定100人

※埼玉県内の親子・子供を対象とします。友人・知人での参加も可能です。  
※石彫の対象年齢は、10歳程度でナイフ等の刃物の扱いができれば参加可能です。  
※定員になりしだい締め切ります。

夏休み宿題などその他相談コーナー

# 勾玉・スライム教室

参加費 無料

アート農園・収穫の蔵事業  
「夏休み親子林間石彫教室展」11:00～17:00  
8月16日[火]～19日[金] リリア内ギャラリー  
※作られた作品はギャラリーにて展示いたします。  
※勾玉・スライム・図工。その他相談コーナーは無料です。

2005年8月13日(土)・14日(日)  
埼玉県川口市川口駅西口リリアパーク (川口西公園内)

1日目 午前 9:00～12:00 午後 13:00～16:00  
2日目 午前 10:00～12:30 午後 13:00～15:00



### 協賛

東洋美術学校  
株式会社システムアrika  
埼玉美術学院  
NPO法人志民アシストネットワーク  
安東裕芳  
ホルベイン工業株式会社  
NPO法人日本渚の美術協会  
その他

### 後援

埼玉県  
川口市・川口市教育委員会  
朝日新聞社さいたま総局  
産経新聞社さいたま総局  
読売新聞社さいたま総局  
埼玉新聞社  
毎日新聞社さいたま総局  
東京新聞社さいたま総局  
テレビ埼玉  
さいたま放送局

特定非営利活動法人  
**アート農園**  
NPO United Art Plantation  
<http://www.art-nouen.jp/>

ポスター



ポスター案1・2・3